

安全なインプラント治療を受けるために

Vol.1



最近、歯の治療としてインプラント治療という言葉をよく耳にするようになりまし。インプラント治療とは、顎の骨の中に人工歯根を埋め込み、そこに人工の歯を固定する治療法です。他の治療法に比べると、歯茎や周りの歯に負担がかからず安定感のある噛み心地が得られる、見た目も自然で美しいなど、多くのメリットがあります。けれど、時間と費用の面でややリスクが高く、治療には高い技術が必要であることなどを考えますと、信頼できる歯科医師に任せることが不可欠となってきます。

せっかくインプラント治療を受けるなら、安心して受けたいもの。そのためには、患者さんご自身がインプラント治療について知ることが大切です。そこで、インプラント治療に多くの実績を持つ仙台歯科医院で、副院長の増田知弘先生にお話を伺いました。3回にわたり、インプラントに関するお話をご紹介します。



増田副院長をはじめ、気さくで明るいスタッフのみなさん。気兼ねなく何でも相談できる雰囲気があります。

インプラントは前準備が重要

Q: 歯の不安を抱えている人は多いと思いますか？

増田副院長「歯の働きが正常でない状態では、噛み合わせが本来のものとは異なった状態にあるもの。例えば入れ歯を入れていなかったり、抜歯した後そのままの状態で放置していたことにより元々噛んでいた位置から歯が下がってしまったたり、倒れてしまっていることがあります。また間違った状態のかぶせものが入っている場合もあります。どの歯科治療にも当てはまりますが、その状態のままインプラント治療を行うと、せっかくインプラント治療をしたのにしっかり噛めなかったり、あごの関節が痛くなったりと様々な支障が出てきます。」

仙台歯科医院ではまず、患者さんの歯を本来あった噛み合わせの位置に戻し、また患者さんがしっかりと噛み心地が実感できているか、お口の中全体のチェックを行うそう。かぶせもので直したり、矯正装置を入れたりといった治療を行い、お口のバランスを整えます。実はこの準備が重要なのだそう。



模型を片手に熟弁をふるう増田副院長。人一倍、正しいインプラント治療への思いは強い



最新の機器を備えた診療室

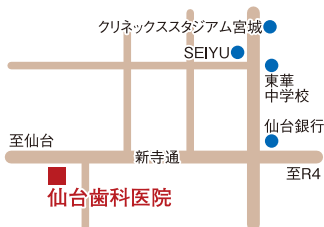
Q: 具体的にどういったことに注意されていますか？

増田副院長「本当は必要であるべき前準備を省き、そのままにしてしまうと、前よりひどい状態になってしまいう危険もあるのです。手術はコンスタントにしていかなないと腕が落ちるものです。当院は木曜をインプラントオペの日と設定しており、定期的な治療を行っています。」

歯の危険にさらされないためにも、患者さんはしっかりとドクター選びが必要となります。どのくらいの経験があるか、考え方がしっかりしたものか、本当に安全か。大事な自分の歯を守る為に、信頼できるドクターを見つけることが肝心です。まずは気軽に、歯の悩みを相談しに行くのもひとつの方法です。



増田知弘副院長。仙台歯科医院のインプラント担当。インプラント治療を深く鋭く探求する以外に、CDを出すほど、本格的に音楽にのめりこんでいるという一面も



●仙台歯科医院
仙台市若林区二軒茶屋2-3 TEL.022-257-7778
診療科目
一般歯科・小児歯科・予防歯科・矯正歯科・審美歯科・口腔外科・レーザー治療・歯周病治療・インプラント
診療時間
平日9:00~13:00/14:00~18:00 木曜はインプラントオペの日 土曜9:00~12:30 午後休診
休診日/土曜午後・日曜・祝祭日
<http://www.sendai-shika.com/>